

平成30年度茨城県立病院運営評価委員会（第1回）の開催結果

日時：平成30年11月28日（水） 17：55～19：20

場所：茨城県庁11階 1103会議室

【委員】

城西大学教授	伊関 友伸 氏
日製日立総合病院長	奥村 稔 氏
公認会計士	清水 至 氏
群馬県立小児医療センター院長	外松 学 氏
茨城県精神科病院協会長	高沢 彰 氏
筑波大学附属病院長	原 晃 氏
茨城県医師会長	諸岡 信裕 氏（委員長）
茨城県総合健診協会顧問（県医療改革担当顧問）	山口 巖 氏

【議事内容・意見等】

○議事内容

- ・第3期病院改革の取組み結果について
- ・茨城県病院事業中期計画（平成30～35年度）の進捗状況について
- ・平成29年度決算について

○主な意見

- ・水戸地域の今後の医療提供体制の方向性について、中央病院の機能や役割が非常に大きくなると思うので、県全体として検討を進めていただきたい。
- ・県立病院から地域の中核病院等への医師派遣は公益に資するものだと思う。地方公務員のため色々と制限があると思うが、医師不足対策として、もっと思い切った方策をとって医師を派遣することはできないか。
- ・医師事務作業補助者の人件費は診療報酬で加算できるので、人数を増やして収入を確保するとともに、働き方改革の一環でタスク・シフティング（業務の移管）も進める必要がある。